

よしみ

議会だより



平成28年
9月定例議会

No.145

- 平成27年度決算 P 2 ~
- 主な議案の内容 P 4 ~
- 一般質問に9名登壇 P 11 ~

平成27年度の決算を認定

9月定例会は、8月31日から9月16日までの17日間の会期で行われました。

平成27年度の各会計決算認定、平成28年度一般会計及び特別会計補正予算、人事案件等21議案(発議を含む。)が上程され、すべて可決、認定、同意されました。

全小学校工

平成27年度一般会計決算収支状況

その他 1.89億円(2.68%)

分担金及び負担金 1.16億円(1.64%)

地方譲与税 1.28億円(1.81%)

諸収入 1.67億円(2.35%)

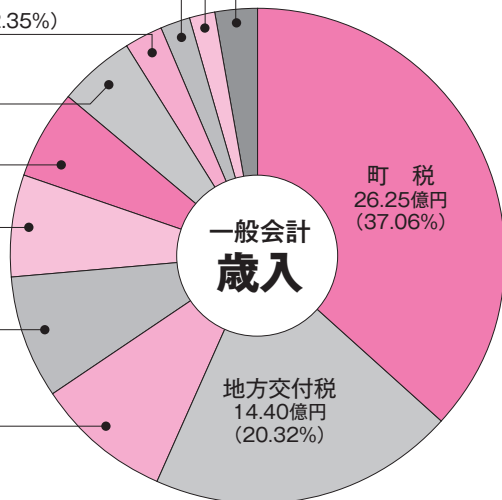
地方消費税交付金
3.37億円(4.76%)

県支出金
4.33億円(6.12%)

繰越金
4.68億円(6.61%)

国庫支出金
5.54億円(7.83%)

町債
6.24億円(8.82%)



労働費 0.03億円(0.05%)

諸支出金 0.93億円(1.44%)

商工費 0.95億円(1.46%)

議会費 1.22億円(1.88%)

農林水産業費
3.70億円(5.71%)

衛生費
4.21億円(6.51%)

土木費
5.36億円(8.28%)

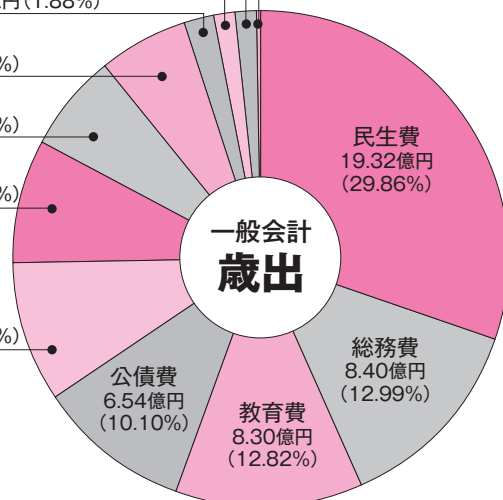
消防費
5.76億円(8.90%)

公債費
6.54億円(10.10%)

教育費
8.30億円(12.82%)

総務費
8.40億円(12.99%)

民生費
19.32億円(29.86%)





設置された空調設備(エアコン)

エアコン設置

各種会計決算収支状況

会計名		歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
一般会計		70億8128万9323円	64億7229万7738円	6億 899万1585円
特別会計	国民健康保険特別会計	32億4399万2616円	29億1802万9163円	3億2596万3453円
	後期高齢者医療特別会計	1億4944万5930円	1億4718万5928円	226万 2円
	介護保険特別会計	14億1000万4541円	13億5024万5354円	5975万9187円
	百穴管理特別会計	2656万9957円	1268万9524円	1388万 433円
	下水道事業特別会計	5億4637万2644円	5億 879万4665円	3757万7979円
	農業集落排水事業特別会計	2億6110万9995円	2億4555万7863円	1555万2132円
	公設浄化槽事業特別会計	1423万1548円	1129万7551円	293万3997円

水道事業会計

収益的収入及び支出

収入 7億 818万4635円
 支出 6億3171万3685円

資本的収入及び支出

収入 1107万円
 支出 2億 723万9614円

※収入不足については、過年度分損益勘定留保資金などにより補てんしました。

主/な/議/案/の/内/容

※質疑等があった議案を掲載しています。

■議案第47号 平成28年度吉見町一般会計補正予算(第4号)

内容 既定の予算額に2億5198万9千円を追加し、予算の総額を62億6196万8千円とする。

一主な歳入一

○地方交付税	(1万円未満切り捨て) 2億5549万円
○繰入金	△3億3955万円
○繰越金	3億4273万円
○諸収入	1531万円
○町債	△3033万円

一主な歳出一

○旧北下砂保育園雑木伐採等修繕料	(1万円未満切り捨て) 176万円
○マイナンバーシステム改修業務委託料	58万円
○子育て定住化促進奨励金	1000万円
○道路区画線等修繕料	200万円
○台山排水路側道工事(ほか3か所)	1436万円
○側溝整備工事(今泉ほか4か所)	4840万円
○舗装修繕工事(山ノ下ほか3か所)	1284万円
○中央公民館除却工事設計業務委託料	300万円
○図書館等複合施設建設検討委員謝金	51万円
○給食センタークーラー修繕料	118万円
○財政調整基金積立金	1億4530万円

主な質疑

問

安心・安全な町づくりを推進する
なら、大きな歳入があれば雑木等
地域要望には迅速に対応すべきでは。

答

雑木の関係はいずれも持ち主がいるので、
町で即対応では筋違いになると考える。

問

交通安全対策や防犯対策として
区長からの要望を町長も直接聞いて
いるが、予算化されない理由は。

答

NTTや東京電力に要望している。雑木の処
理は地権者への通知を現在進めている。白線の
引き直し、グリーンベルトは予算に入っている。

問

中央公民館除却工事設計業務は、
どのような業者に委託するのか。

答

建物解体やアスベスト除去の専門的技術
や実績のある業者を選定する。

問

図書館等複合施設建設検討委員
会に図書館運営協議会委員を複数入
れる考えは。

答

前向きに検討したい。

問

財政調整基金の補正後の総額は。

答

14億1026万1196円。

問

財政調整基金に1億円を超える
積み立てをする理由は。

答

今後、中央公民館の除却や社会福祉費の
増に充てていくため。

反対討論

日本共産党 杉田しのぶ議員

1億4530万円を基金に積み立てているが、予算がないという理由で対応されてい
ないものも多くある。安全・安心への地域要望には、迅速に応えるべきである。

■議案第48号 平成28年度吉見町国民健康保険税特別会計補正予算(第1号)

内容 既定の予算額に1億2646万8千円を追加し、予算総額を31億9346万8千円とする。

主な質疑

問

システム改修の具体的な内容は。

答

国民健康保険の広域化に向けて、被保険者の所得や医療費の情報等を県のシステムに合致させ、情報提供するための改修。

問

高額医療費の増額補正の理由は。

答

昨年度から保険適用が始まった肝炎治療薬の利用者が生じたための影響が大きい。

反対討論

日本共産党 杉田しのぶ議員

国民健康保険は高齢者や低所得者が多く加入しており、その構造を置き去りに、明確な財源も示されない中、広域化を進めるための補正は認められない。

■議案第51号 平成28年度吉見町百穴管理特別会計補正予算(第1号)

内容 既定の予算額に1157万円を追加し、予算総額を2837万円とする。

主な質疑

問

補正で1157万円増、合計1388万円の予備費の使い道は。

答

施設の更新など計画的に行っていくために使っていきたい。

問

将来的な事業のために基金を設立して積み立てる考えは。

答

現在のところ考えていない。



吉見百穴

現行の介護保険制度の維持を求める意見書(案)の提出について

提出者 小林 周三議員 **全員賛成で可決**

9月16日、関係機関に提出しました。

現行の介護保険制度の維持を求める意見書

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていける介護保険制度は、吉見町が進める高齢者福祉及び介護保険計画の基本理念である「笑顔でつながる健康と福祉のまち吉見」の基盤をなすものです。

介護保険は、平成9年に法制化され、「介護を必要とする高齢者の治療や介護等にかかる負担（費用、家族介助、福祉施設利用料、福祉用具、住宅改修等）を社会全体で支援するための保険制度」で、町民にも定着が図られ、高齢者本人だけではなく、高齢者を抱える家族や地域の福祉にとって必要不可欠の社会保障制度になっています。

このような中、国は「骨太の方針」で、次期介護保険制度改革において、介護認定の軽度者に対する給付を大幅に見直す方針を打ち出し、要支援1から要介護2までの方（以下「軽度者」という。）の福祉用具、住宅改修や生活援助サービスを「原則自己負担」にすることを検討することが盛り込まれました。

現在検討されている主な内容は、①軽度者の生活援助、福祉用具、住宅改修は原則自己負担とする。②軽度者向けサービスは地域支援事業へ移行する。③利用者2割負担の対象者の拡大の3点からなっています。

福祉用具・住宅改修は、軽度者にとって自立支援のために必要なサービスであり、現在、在宅の半数以上の人たちが利用しており、住み慣れた家で暮らし続けるために不可欠なものになっています。

また、認知症の方が増える傾向がある中で、軽度者の訪問介護、機能訓練やレスパイト（介護をしている家族などが一時的に介護から解放され、休息をとれるようにする支援）の役割を果たす通所介護は不可欠と考えられます。

今、介護保険制度の利用者の半数以上が、今回対象となる軽度者となっています。

介護保険の目的は高齢者の介護を社会全体で支え自立支援につなげることと同時に、家族の介護負担を軽減し、誰もが安心して生活できる社会をつくることにあります。給付を抑制することは、介護を受けられなくなる人が増加し「介護難民」を増やしてしまうことになりかねません。また、在宅での介護を困難にし、結果的にコストの高いサービスを利用することにつながり、全体の社会保障費を引き上げのおそれがあります。

見直しの議論は、平成28年厚生労働省の社会保障審議会の場で行われています。このような情勢を踏まえ、現行の介護保険制度の仕組みを維持させることを強く要望するものです。

以上、地方自治法第99条の規定により提出します。

意見書とは

地方自治法第99条において、地方公共団体の公益に関する事件について、議会の議決に基づき、議会としての意見や希望を意見書として内閣総理大臣、国会、関係行政庁に提出できるとされています。

議員または委員会の発議で提案し、審議します。

人 事

教育委員会委員の任命同意

教育委員会委員に

さかもと あけみ

坂本 朱美 氏を

任命同意(再任)しました。



吉見町大字北吉見1739番地16
昭和47年1月27日生

教育委員会委員の任命同意

教育委員会委員に

かとう ちえこ

加藤 千枝子 氏を

任命同意しました。



吉見町大字江綱105番地
昭和28年2月17日生

一般会計決算

反対 討論 日本共産党 岩田 晃一議員

同和事業関連では、町内で差別事象もない中で、差別解消を目的とした補助金が継続されている。集会所学級は、地域の人々の交流が目的であれば、生涯学習の一環として全町的に行えるようにすべき。

新ごみ処理施設建設の件では、別件ではあるが、反対する町民との間で訴訟継続中という現状がある中、粛々と進めていくことは認められない。

職員や臨時職員の更なる待遇改善を行い、労働力の維持・向上を図ることを求める。

賛成 討論 岩崎 勤議員

一般会計歳入は、徴収率が増加し、学校給食費徴収金現年度分徴収率が100%など執行部の取り組みの成果がみられ、国・県の補助金なども増加、旧前河内保育園の用地売却も実施された。

歳出は、国交付金を活用した吉見町産米ネット販売事業やプレミアム地域通貨事業、防災無線や小学校の大型ハード事業、子育て世代の定住化に向けた切れ目のない支援事業など、地域経済の活性化や生活基盤の整備、子育て環境の充実が推進された。

反対 討論 戸谷 照喜議員

1. ムダづかいの① 人権政策費および人権教育費関連の概算450万円。寝た子を起こすな。人権を言うなら子供の貧困や生活困窮者対策を優先せよ。

ムダづかいの② マイナンバー関連経費。町民にはメリットなく、デメリットしかない。

2. やるべき事をやらなかった仕事。先日も南吉見団地の坂道で小学生の転倒事故があった。雨後のぬめり(滑り)が原因だった。道路工事は危険箇所から優先に、の原則が実行されていない。

賛成 討論 小宮 榮議員

一般会計、特別会計合わせて地方債残高が107億76万3871円。前年度比1億8547万5201円の減少。一方、基金残高は20億7231万6927円で、前年度比1億2088万1550円の増加。要するに、借金が減って預金が増えた。

※将来負担比率も平成20年度の143.6%から平成27年度は43.9%、3分の1まで減った。教育の面でも、比企・入間22市町村中、一番の学年があった(県の学力・学習状況調査)。

※将来負担比率とは

財政の健全化を図る指標の一つで、地方公共団体の借入金(地方債)など現在抱えている負債の大きさを、財政規模に対する割合で表したもの。



平成27年度決算の健全化判断比率 全会計とも基準を下回り、町の財政は健全

総務建設常任委員会 決算報告

杉田しのぶ 委員長

平成27年度一般会計決算のうち、本委員会が所管する議会費、総務費、衛生費、労働費、農林水産業費、商工費、土木費、消防費、災害復旧費、公債費、諸支出金及び予備費の関連科目、平成27年度特別会計決算のうち、百穴管理特別会計、下水道事業特別会計、農業集落排水事業特別会計、公設浄化槽事業特別会計、水道事業会計の歳入及び歳出について決算審議を行いましたので、主な内容について報告いたします。

議長交際費の使途に問題はないか

支出基準に基づき、夏祭りや懇親会等にかかる経費として、実費相当額を支出しているため、問題はないと考えています。

防災行政無線デジタル化更新について

子局の位置を動かしたことによって、音量が小さくなった、大きすぎる等のご意見もありましたが、現地と一緒に確認し、町全体で最善の位置関係となるよう設置したことを説明し、ご理解いただいています。今回の更新では、放送内容が確認できる電話応答装置やメール配信サービスを新たに取り入れ、防災無線波を使用して指定避難場所の小中学校と通信できる半固定型無線装置を導入するなど、町の情報伝達力の強化を図っています。

子育て世代定住化促進奨励金の実績は

平成27年度の交付実績は29件で、町内在住者は16件、町外からは4件、Uターンは9件です。事業開始から本年8月までの申請件数は75件、人数は284人で、人口減少対策に一定の効果があると認識しています。

これに対し、県では多子世帯への支援として、中古住宅の取得等の諸経費に対する助成がある。本町へ定住化を希望する方が、より手厚い支援が受けられるよう窓口で情報提供することを要望しました。

プレミアム地域通貨事業の効果は

地域通貨券を購入したのは1,126世帯で、1世帯あ

たりの購入は平均9.3冊です。また、国から示された計算式に基づく経済効果として、新たに消費喚起された額は約9011万円となります。

※1冊10,000円で購入し、13,000円分の商品券として利用可能。

水田農業構造改革対策特別事業補助金における新規需要米の取り組み状況は

米粉米、飼料用米への取り組み者に対し、759万1284円の補助を行いました。米粉米は約56.9ha、飼料用米は127.4ha取り組まれており、どちらも前年度よりも増えています。

準用河川横見改修工事の整備状況と今後は

平成27年度で松崎の堰^{せき}までの工事が完了していません。河川改修事業に充当できる補助金制度がないため、今後については、未改修区間の整備が図れるよう調査設計などに取り組んでいきます。

これに対し、農業用水としての関わりも強いため関係課と調整し、様々な角度から補助制度を検討し、目に見える進捗が図られるよう要望しました。

有収率が下がっている原因は

口径50mm以下の給水管の漏水が主な原因で、平成27年度は117件の修繕を実施しました。

これに対し、漏水探知機や音聴棒などを駆使した調査を実施し、漏水の早期修繕に努めるよう要望しました。

以上、本委員会において慎重審議の結果、原案のとおり認定すべきものと決した次第です。

小学校空調設備を整備 より良い教育環境整う



教育福祉常任委員会 決算報告

荻野 勇 委員長

平成27年度吉見町一般会計決算のうち、本委員会が所管する総務費、民生費、衛生費及び教育費、平成27年度特別会計決算のうち、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計の歳入及び歳出について決算審議を行いましたので、主な内容について報告いたします。

地域支え合いマップシステムの活用方法は

災害時に支援を必要とする方を、システムに登録して管理を行うもので、地図上に支援を必要とする方を表示することもできます。災害発生時に速やかに利用できるよう、登録されている情報を印字したものを民生委員と区長に渡しており、平時においても見守りなどに活用していただいています。

各種検診の受診率向上と健康づくりの取り組みは

生活習慣病改善を目的とした各種健診や健康づくりには積極的に取り組まなければならないと考えています。自覚症状もなく、健康に不安のない方は、日頃の健康保持に関心が薄い方もおり、気軽に取り組める方法や行動変容につながる様々な工夫が求められています。国・県においても個人の健康づくりに一定の目標を達成することで特典を与えるなど、新たな取り組みも始まっています。これらを注視しつつ無関心層への意識を高め、自主的な健康づくりにつながる事業の実施に努めていきたいと考えています。

少子化が進行しているが子ども医療費の状況は

平成27年度末の対象児童数は前年度比144人減少していますが、給付件数は47件、医療費は約47万円増加しています。

地域交流保育・出前子育て支援事業の効果は

地域交流保育事業では、保育所での保育の様子の見学や行事に参加してもらうことで、保育所への理解を深めていただきました。また、出前子育て支援事業

では、子育て支援センターの持つ機能を地域に出向いて行うことで、参加者にとって利便性の高い事業を展開することができました。

小学校の空調設備温度設定等の運用基準は

平成27年11月に各学校へ「小中学校エアコン運用指針」を配布し、節電等を含めた効率的な運用をお願いしています。運用指針では、教室の温度が夏期は28度以上、冬期は18度以下を目安に児童生徒の体調に配慮した運用を行うとともに、空調設備の電源を入れる時間をずらす等、節電に努めています。使用については各学校長に判断していただいています。

図書館の利用者数の状況と今後の取り組みは

平成27年度は開館30周年を記念し、スタンプカードや読書貯金通帳を活用した企画などの実施により、前年度対比で貸出延人数1,737人の増加、貸出延冊数では7,929冊の増加となっています。また、平成28年度より祝日開館を開始するなど、更なる取り組みも実施しています。

後発医薬品の利用率は

町国保としては医療費抑制のために、後発医薬品の利用促進に向けて啓発等を行っていますが、直近の状況では53.3%にとどまっています。これは県内町村では最も低い率となっています。

以上、本委員会において慎重審議の結果、原案のとおり認定すべきものと決した次第です。

議 案 審 議 結 果

町長提出議案

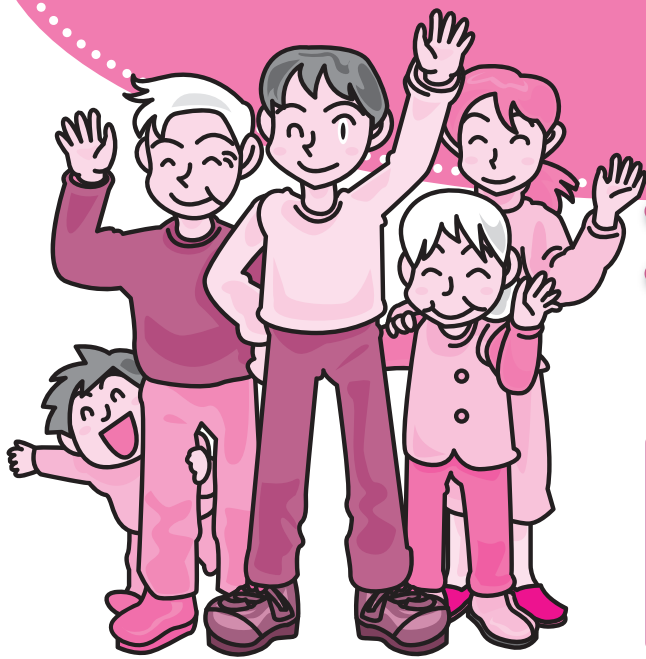
議案番号	件 名	結果	岩田	戸谷	秋山	伊与田	尾崎	神田	荻野	岩崎	宮崎	杉田	小林	内野	小宮	安孫子
議案第47号	平成28年度吉見町一般会計補正予算(第4号)	可決	×	●	●	●	●	●	●	●	●	×	●	●	●	—
議案第48号	平成28年度吉見町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	×	●	●	●	●	●	●	●	●	×	●	●	●	—
議案第49号	平成28年度吉見町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第50号	平成28年度吉見町介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第51号	平成28年度吉見町百穴管理特別会計補正予算(第1号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第52号	平成28年度吉見町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第53号	平成28年度吉見町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第54号	平成28年度吉見町公設浄化槽事業特別会計補正予算(第1号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第55号	平成28年度吉見町水道事業会計補正予算(第2号)	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第56号	平成27年度吉見町一般会計決算認定について	認定	×	×	●	●	●	●	●	●	●	×	●	●	●	—
議案第57号	平成27年度吉見町国民健康保険特別会計決算認定について	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第58号	平成27年度吉見町後期高齢者医療特別会計決算認定について	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第59号	平成27年度吉見町介護保険特別会計決算認定について	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第60号	平成27年度吉見町百穴管理特別会計決算認定について	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第61号	平成27年度吉見町下水道事業特別会計決算認定について	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第62号	平成27年度吉見町農業集落排水事業特別会計決算認定について	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第63号	平成27年度吉見町公設浄化槽事業特別会計決算認定について	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第64号	平成27年度吉見町水道事業会計決算認定について	認定	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第65号	教育委員会委員の任命同意について	同意	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
議案第66号	教育委員会委員の任命同意について	同意	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—

議員提出議案(追加)

発議第1号	現行の介護保険制度の維持を求める意見書(案)の提出について	可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
-------	-------------------------------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

「—」は議長のため、採決に加わっていません。

町政に対する 一般質問



そこが聞きたい

こうしてほしい

一般質問とは？

「一般質問は、議員が町政全般について、自由なテーマで町長に質問・政策提言を行うもの」で、町民の声を町政に届けるものです。(持ち時間1人60分)

議会日よりでは本人の原稿をもとに、その内容を約700字以内で要約し、お知らせしています。



事件情報を伝える 熊谷モデルの運用は

▶▶伊与田 隆 議員

問 警察署、自治体、自治会が共有して事件情報を伝える「熊谷モデル」の運用は。

答 「吉見町犯罪情報の住民提供等に関する協定」を町・東松山警察署・吉見町区長会の三者により締結しています。防災行政無線などによる犯罪情報の提供が、効果的な対策として捉え、本協定に基づく防犯対策を推進していきます。

問 犯罪のない町づくりの防犯対策について。犯罪を起こさせにくい地域をつくるために防犯カメラの設置が必要と思われるが、町の現状は。

答 町では必要性に応じて、8か所の町施設に防犯カメラを設置をしていますが、今後も適切な運用を図り、犯罪を起こさせにくい防犯のまちづくりを推進していきます。

問 町の施設8か所の防犯カメラの設置状況は。

答 子育て支援課で所管のよしみけやき保育所及び子育て支援センターに4台設置されています。地域振興課所管では、フレンドシップ・ハイツよしみ、道の駅いちごの里よしみに1台ずつ設置されています。生涯学習課所管では、町民会館に15台、図書館に3台、埋蔵文化財センターに4台がそれぞれ設置されています。教育総務課所管では、小学校には設置されていませんが、中学校に3台設置されています。

問 吉見町の人口減少率をどう見るか。今年発表の人口減少率で県内で4番目に高い1.83%であったが、対策はあるのか。

答 補助事業を積極的に活用しつつ、人口減少の抑制に取り組んでいきます。



防犯カメラ



防犯灯のLED化の促進を

▶▶ 日本共産党 岩田 晃一 議員

問 道路照明灯は町で設置管理されているが、町内に1,050基ある防犯灯の設置管理は行政区に任せ、かかる費用の半分を町が負担している。その内140基はすでに行政区でLED化されており、電気代は1基あたり年間3,200円だったものが1,600円になる。設置費は約3万円だが半分町の補助があるので1万5千円で済み、安くなった電気代の10年分で工事費がまかなえる。町が一旦工事費を肩代わりして残りの910基すべてをLED化し、電気代の差額分を行政区に返済してもらいLED化を促進する考えは。

答 町は、地域の安全安心のため行政区の設置した防犯灯に補助金を出している。

問 では考え方を変えて、現在電気代を半分補助しているが、LED化すれば現在町が補助している電気代分しかかからない。学校に近い行政区は防犯灯の

数も多く、行政区によって人口も違うので1人当たりの防犯灯への負担金は公平ではない。道路照明灯と同じように防犯灯も町で一括管理し、リース方式を採用すれば国の補助金の対象にもなる。交換にかかる費用の半分を行政区から町に毎月少しずつ支払ってもらうのはどうか。

答 基本的に町はLED化を進めている。防犯灯については地域で防犯上のことを考えながら設置するのが原則となっている。今までもそうしてきたのだから、今後も区長会議等を通じてLED化を進めながら地域で管理していただく。



LED灯



地域活性化対策、今後の国際交流事業は

▶▶ 尾崎 豊 議員

問 オリンピックを含めた海外交流事業の実施を。

答 オリンピック・パラリンピック関連では、本町に射撃場があるという特徴をふまえ、これを国際交流事業に結びつけられないかを検討しました。

問 吉見町を含め近隣に暮らす海外の人との交流事業の取り組みと助成は。

答 国際理解展示のほか、公民館の事業として、キムチ作り教室・韓国文化おはなし会を開催し、食文化を通じた国際交流事業を実施しています。

問 行政バスの使用状況は。

答 平成21年1月から民間事業者への委託方式に移行し実施しており、移行後は経費の節減も含め、より効率的な行政バスの使用に努めています。使用規定の変更等はありません。

問 菊の団体の育成を。

答 今年度、花いっぱい運動の一環で希望団体への菊の苗を配布しました。特定の団体の育成でなく、広く町民の方を対象にさまざまな事業に取り組んでおり、今後も目的に沿って活動を展開します。

問 遊休地を含めた農地への果樹の植栽を。

答 栽培適地などを選定し、試験栽培などを通して検証を行っていきます。

問 吉見町の環境を守る取り組みとして、騒音に関する取り組みは。

答 騒音規制法及び埼玉県生活環境保全条例等の法令に基づき、工場・事業場から発生する騒音に対し規制を行っています。

問 吉見町の行政区にある公園の整備は。

答 児童遊園地の遊具設置の支援をしていきます。



国際交流事業

適正化事業に 該当するよう協力を

» 小宮 榮 議員



問 北地区のほ場整備区域(600ha)に適正化事業を取り入れてもらえるか。吉見町内には改良区が4団体あるが、その面積は。また、北地区の整備区域内の井戸約50か所、揚水機場2か所、石綿パイプラインの修理は該当するのか。

答 吉見領土地改良区1,034.6ha、西吉見南部土地改良区91.4ha、田甲土地改良区29ha、東第二土地改良区219haです。北地区の区域は該当します。

問 町からの補助金を出してくれと言っているのではない。吉見領土地改良区との調整に協力をしていただきたい。

答 協力していきたい。

問 空家問題について、前回の質問から1年経ったがその後の進捗状況は。今年の台風で木が折れて停電になった。管理不全で近隣に迷惑をかけている。

答 8月24日、所有者が解体すると明言した。

問 もしこのままだったら、東京都葛飾区で行われた行政代執行を例に、空家対策特措法に基づく対策を進めてほしい。

答 早いうちに解決していきたい。



宮川揚水機場

道の駅いちごの里よしみの 構想実現に向けての 課題と今後の予定

» 神田 隆 議員



問 多くの人々が利用し便利でにぎやかな交流拠点である道の駅は、現在多くの課題があると思うが、施設運営及び管理上の課題は。

答 イベント開催時やいちごの最盛期には、普通車駐車場が満車となり、大型車駐車場も慢性的に不足している状況にあり、駐車場の確保が課題です。

問 各種店舗や販売品規制及び道の駅の利用者への利用規制は。

答 特産館、商工出店組合とJA吉見農産物直売所では、道の駅設置当初に定めた申し合わせ書により販売品の制限があります。道の駅利用者については、施設利用上の禁止事項を定めています。

問 新たな道の駅の構想図には、特産品グルメ館や体験農園、農産物加工販売施設等のイメージ図があるが、実現に向けての取り組みは。

答 道の駅を中心に新商品開発などが進んでいる吉見いちごの加工品は、ふるさと物産として応援宣言を行っている。重点「道の駅」候補選定をきっかけに連携が進んでいる立教大学観光学部との協力で開催された道の駅夏祭りでは、町内の飲食店で扱っている吉見いちごの加工品・B級グルメを一堂に会した「吉見のうまいもんフェア」などにより農業・商業・観光の連携を進め、地域の方々に親しんでいただき活性化につながる取り組みを行いました。

問 新規就農者研修施設(いちごハウス)の建築確認申請の許可は。また、いちご狩りの使用料は。

答 建築確認申請は、行われています。いちご狩りの売上金の3%を使用料としていただいています。



道の駅 いちごの里よしみ



「公共交通アンケート」の目的は

» 戸谷 照喜 議員

問 7月、町は公共交通に関して町内65歳以上の1,000人に対しアンケート調査を実施した。そのうち700人余りから回答があったとのこと。しかし、このアンケートの目的はそもそも何だったのか。アンケートの前書きには「町民の皆さまの移動方法や目的地などの実態を把握するため」とある。つまり第一には自分の車で行くのか、自転車で行くのか、タクシーで行くのか等を聞いている。第二は通院や買物については各々どこの病院やお店へ行くのかを聞いている。しかし、このような内容は今さら聞くには及ばないことではないのか。

答 移動方法をつかむことが重要と考えた。

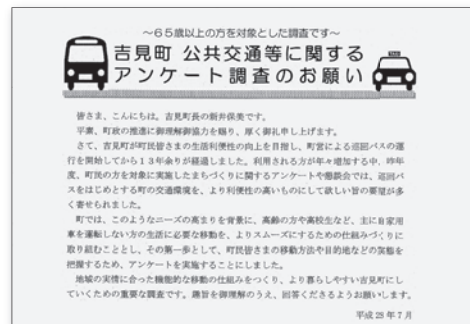
問 昨年1~2月に実施した「まちづくりアンケート」でも町内の公共交通に満足しているのは、わずか6~7%にすぎない。大多数の人が不満と答えており、町

民の回答はすでに出ている。ここに至ってまた移動手段や行く先を聞いてどうするのか。今回はそうではなく、アンケートはむしろ町の側から改善の具体案を示し、「この方向、内容でいきたいので町民の皆様いかがでしょうか、まずい点があればご指摘ください」という内容にすべきではなかったのか。

答 その仕組みづくりのための第一歩として、今回のアンケートをお願いした。

問 もう一つ言えば今回のアンケートでは肝心の巡回バスとデマンドタクシーについての質問が一つもないことだ。アンケート実施の目的が理解できない。

答 巡回バス利用者は年々増加傾向にある。更なる改善に向けて努力していきたい。



吉見町 公共交通等に関するアンケート調査

持続可能なまちを目指して

» 小林 周三 議員



問 町が施策を実行するためには財源が必要不可欠です。財源の確保こそ持続可能な町づくりのキーポイントです。そのために今われわれがやれることは何かと考えた時、「子どもたちの学力」「町民の健康」そのふたつの向上と更なる増進が何よりも必要です。そこで、財源確保のために医療費の削減に努め、余った予算で学力向上の施策に使うことを考え、以下質問しました。町内の小学校・中学校の学力向上の施策は。

答 教育委員会では、「教師の指導力向上」と「児童生徒の家庭学習の習慣化」を二本柱に学力向上を目指しています。

問 全国学力・学習状況調査の結果は。

答 平成28年度小学校では全国平均を上回った学校もありましたが、全体で見ると、全国平均正答率に届きませんでした。中学校においても、全国の平均値

に届かなかった状況です。

問 医療費削減・特定健診受診率向上は。

答 平成20年度から取り組みを始めた特定健診は、初年度の受診率は24.6%でしたが、平成27年度の速報値は38.0%となり、大幅に向上しています。

問 かかり付け医・かかり付け薬剤師への取り組みの状況は。

答 国では、医療提供体制の改善や医療費適正化に向けて、かかりつけ医・かかりつけ薬剤師の普及を推し進めています。町国保においても、医療費等の伸びの抑制は課題となっていますので、国の取り組みの効果について注視していきます。



東松山斎場内の 葬儀場廃止は 町民の声を聞いて

▶ 日本共産党 杉田しのぶ 議員



問 東松山斎場の建て替えに伴って、葬儀場の廃止が計画されているが、吉見町議会に報告や意見聴取がなかったのはなぜなのか。

答 東松山斎場は比企広域市町村圏組合の共同処理の対象となる事務であり、組合を構成する地方公共団体の事務からは除外されるので、執行部から直接議会へ報告はしていない。

問 町は斎場の建て替えに対しても負担金を出している。少なくとも計画の案ができる前に説明責任を果たすことが首長としての役割ではないか。

東松山斎場内の葬儀場の廃止は、セレモニーホールを持たない葬儀社にとっては死活問題にもなり、将来、利用を想定していた町民にとっては寝耳に水。本格的な設計に入る前に、町民に意見を求めて意向確認を行い、今からでも反映させる努力を。

答 町民の中にそういうご意見があるということは今、理解した。それをもって正副管理者会議にも臨むが、この件については、比企広域市町村圏組合で正当な手続きも経て、議会の承認もいただいているので、その点についてはご理解いただきたい。

問 親の就労形態が多様化する中、現行の保育の受け入れでは間に合わず、やむなくファミリーサポートを利用する家庭もある。保育に欠けている現状を補う意味でも、更なる利用料負担の軽減を行い、子育て世代の支援を行うことについて町長の考えは。

答 ファミリーサポート事業は大変いい制度だと思うが、町民の負担の公平性、利益の公平性を勘案しても妥当な額ではないかと私は思っている。

その他の質問
・蜂の巣の駆除は迅速に



東松山斎場内の葬儀場

観光振興で 交流人口を増やし、 地域活性化を推進

▶ 公明党 秋山 真美 議員



問 交流人口を増やすことは、商業・農業の振興の観点からも販路を拡大させるための大切な視点である。人と人をつなぐ拠点として、全国に1,600か所以上設置されている「^{*}まちの駅」の設置についての考えは。

答 設置は考えていない。道の駅、フレンドシップ・ハイツよしみ、吉見百穴など多くの方が訪れる施設が観光案内や人とモノが交流する拠点となるよう取り組む。

問 投票の利便性の向上のため、期日前投票の宣誓書を投票入場券に記載できないか。また、県内で採用している自治体の数は。

答 近隣自治体の取り組み事例など参考に、メリット・デメリットを精査し、有権者にとってより分かりやすい投票入場券となるよう調査研究する。平成27年度末で県内72市区町村のうち42が採用している。

問 祖父母世代が孫と接する時、昔と今の子育ての違

いに戸惑うことがあると聞く。今の子育てについて学ぶことができる「祖父母手帳」作成についての考えは。

答 核家族化が進む現代の家庭環境では、祖父母世代の育児への協力は重要と認識している。育児の常識が大きく変わった事柄については、祖父母世代だけでなく親世代にも知って得する子育て情報なので、分かりやすくA4サイズにまとめる。子育てガイドブックに収録、ホームページ掲載、子育て支援拠点で配布などしていく。

その他の質問
・高齢者用肺炎球菌ワクチンと乳幼児B型肝炎ワクチンの接種について

※まちの駅とは
トイレ・休憩スペースがある、まちの案内人がいる、地域の情報提供ができるなどの店舗・企業・公共施設に設置ができる。



まちの駅のほり旗

北本地区衛生組合議会定例会

» 神田 隆 議員

日 時 平成28年7月27日(水)午前9時から
場 所 北本地区衛生組合議場
出席議員 秋山真美 神田隆 宮崎雄一

吉見町の平成27年度搬入量は、5,633.66kℓで前年度よりプラス25.25kℓの増加です。し尿の減少は、西吉見南部地区工事が完了し現場事務所の汲み取り減少が主な要因です。浄化槽汚泥は、ほぼ横ばいで、農業集落排水汚泥の増加は、活性汚泥入れ作業に伴う古い汚泥引き抜きが主な要因です。なお、上程された議案は、12議案です。

..... 付議された主な議案

○議案第 4 号 平成27年度北本地区衛生組合歳入歳出決算の認定について

歳入決算額は、4億844万7377円。歳出決算額は、3億7928万4796円。歳入歳出差引額2916万2581円が平成28年度に繰り越されるもの。

○議案第 5 号 専決処分の承認を求めることにつ

いて(北本地区衛生組合議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について)

○議案第 6 号 専決処分の承認を求めることについて(北本地区衛生組合管理者及び副管理者の給与等に関する条例の一部改正について)

○議案第 7 号 専決処分の承認を求めることについて(北本地区衛生組合職員の給与に関する条例の一部改正について)

○議案第13号 行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

○議案第14号 北本地区衛生組合行政不服審査会条例の制定について

いずれも原案のとおり可決・認定されました。

埼玉中部資源循環組合議会定例会

» 小宮 榮 議員

日 時 平成28年8月10日(水)午前10時から
場 所 吉見町議会議場
出席議員 安孫子和子 岩崎勤 小宮榮

管理者から報告1件、専決処分2件、補正予算議案1件、決算議案1件が提出され、事務局より報告第1号及び議案第11号から議案第13号までの説明がありました。議案第14号については、会計管理者からの概要説明の後、監査委員から決算監査の報告がありました。

議案審議終了後、小宮議長から辞職願が提出され、議長選挙が行われることとなりました。選挙は、指名推選により行われ、吉見町の岩崎勤議員が議長に選出されました。

..... 付議された議案

○議案第11号 専決処分について(埼玉中部資源循環組合行政不服審査法施行条例)

○議案第12号 専決処分について(埼玉中部資源循環組合情報公開条例等の一部を改正する条例)

○議案第13号 平成28年度埼玉中部資源循環組合一般会計補正予算(第1号)について

○議案第14号 平成27年度埼玉中部資源循環組合一般会計歳入歳出決算の認定について

いずれも原案のとおり承認、可決、認定されました。

比企広域市町村圏組合議会定例会

» 伊与田 隆 議員

日 時 平成28年8月9日(火)午前10時から

場 所 東松山市議会議場

出席議員 安孫子和子 伊与田隆

管理者より行政報告の後、議案説明がありました。上程された案件は、15件(報告1件、財産取得4件、補正予算5件、決算議案5件)です。

付議された主な議案

○議案第31号 平成27年度比企広域市町村圏組合一般会計歳入歳出決算の認定について

歳入決算額は、7300万1062円。歳出決算額は、6867万5859円。歳入歳出差引額432万5203円。

○議案第32号 平成27年度比企広域市町村圏組合消防特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入決算額は、34億360万3892円。歳出決算額は、32億2749万1001円。歳入歳出差引額1億7611万2891円。

○議案第33号 平成27年度比企広域市町村圏組合斎場及び霊きゅう自動車事業特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入決算額は、1億4364万6317円。歳出決算額は、1億151万6559円。歳入歳出差引額4212万9758円。

○議案第34号 平成27年度比企広域市町村圏組合介護認定及び障害支援区分審査会特別会計歳入歳出決算の認定について

歳入決算額は、9029万7444円。歳出決算額は、7337万2891円。歳入歳出差引額1692万4553円。いずれも原案のとおり可決・認定されました。



吉見分署に配備された水槽付消防ポンプ自動車と高規格救急自動車

町議会を傍聴してみませんか

次の議会は**12月定例議会**
12月6日(火)から開催される予定です。

詳しいことは町議会事務局までお問い合わせください。

TEL 0493-63-5024 (ダイヤルイン)



傍聴席

吉見町総合防災訓練

平成28年8月6日(土)、フレサよしみ駐車場で実施。町民の皆様とともに議員も初期消火訓練や煙体験などに参加しました。



予算決算の審査方法を調査研究

平成28年9月27日(火)、議会運営委員会のメンバーを中心に嵐山町議会決算審査特別委員会を傍聴しました。



表紙の題字



島本 杏海(きょうかい)さん 久保田在住 100歳
 中学校教師を務められ、町史編さんにも尽力されました。畑で育てた野菜は家族に喜ばれ、菊づくりも本格的で、今年も菊花展に向けて菊の手入りに精を出しておられます。「晴耕雨読」と教えていただきました。

表紙の写真によせて



9月17日(土)、吉見中体育祭では、競技に先立ち5つの団が工夫をこらした躍動感あふれる応援合戦が繰り広げられました。

編集後記

ブラジルで開催されたオリンピック・パラリンピック。アスリート達のこれまでの努力に思いをはせ、声援を送り、感動をもらった暑い夏でした。

編集作業は、毎年行われている議会広報コンクールでの日本一を目指し「読みやすくわかりやすくどのように表現するか」試行錯誤で取り組んでいます。

ぜひ、ご意見・ご感想をお寄せください。(秋山)



吉見町議会QRコード

議会だより編集特別委員会

委員長	秋山 真美
副委員長	杉田 しのぶ
委員	荻野 勇
委員	尾崎 豊
委員	戸谷 照喜
相談役(議長)	安孫子 和子

この議会だよりは再生紙を使用しています。